

萩の郷

No. 115

2023.6.7 発行

発行 者：下市田区

発行責任者：北沢文治

印刷：龍共印刷株式会社



4年ぶり伝統の獅子舞奉納

萩山神社春祭り 小学生が獅子曳き、浦安の舞

萩山神社春季例大祭にあわせ、萩山郷土芸能保存会は3月25、26日に伝統の獅子舞を奉納しました。令和2年から新型コロナウイルス流行のため行えず、昨年は御柱祭の年でもあったため4年ぶりの奉納となりました。

五穀豊穡、無病息災、地域の安全を祈って奉納する獅子舞で、歌舞伎に由来する松王、梅王、桜丸に扮した3人の男子小学生による獅子曳きが大きな見所です。宵祭りの25日は安養寺で獅子舞と囃子屋台の公演を披露。本祭りの26日は3人の獅子曳きも加わり、安養寺で公演した後、舞いながら参道を練り歩いて萩山神社境内に入りました。

この獅子舞は寛政8（1796）年に安養寺の荒神堂御開帳の際に舞ったのが始まりとされ、そこから数えて今年で228年目。コロナに配慮して規模を縮小し出砂原お祭り広場やパース駐車場での公演は行いませんでしたが、安養寺から出発して萩山神社へと進むのはこの獅子舞の本来の姿です。2日ともあいにくの小雨でしたが、桜の開花も例年より早く進む中、にぎやかな春祭りの復活をみなで喜び合いました。

本祭りでは萩山神社拝殿で浦安の舞の奉納も行われ、各区から選ばれた6人の女子小学生が舞姫を務め、おごそかで優美な舞を披露しました。



下市田区 新三役あいさつ

各行事の再開を

区長 北沢 文治



新年度の役員改選にあたり区長の大役を担

うことになりました。何分にも不慣れで未熟者であり、区長が務まるのか不安ですが、お受けした以上、精一杯頑張つて参ります。

私にとって性格の良くない所は、素直でお願いされるところです。4年前に区の会計、それから副区長とやらせていただきました。その間、区民の皆様にはご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

さて皆様ご存知のように5月8日からコロナ感染症が5類扱いとなりました。感染者の正確な発表がないとか、指定された病院でなくとも診察ができる、医療費が自己負担になるなど変わりましたが、コロナ感染症そのものは今までと特に

変わりません。皆様も今までと同様、感染には気を付けて頂き、各自治会の行事等、以前のように行つて頂きたいと思います。「コロナだから止める」と最初から決めつけることはなくして頂きたいと考えます。

支館の行事も3年間コロナ禍で行えませんでした。地域のコミュニティを取り戻すためにも、今年は実施する予定です。

最後に、新たに区の役員、委員になられた皆様、2年間楽しくやりましょう。

皆様の支援を

副区長 光沢 金良



コロナが猛威を振るった間、こ

らで終息かもしれませんが、世界の情勢も私たちの身の回り暮らし方も、大きく変わりました。その間、一区自治会に関わつて参りましたが、それより以前地

元企業で40余年、狭い世界で片意地張つていたのを痛感し、自治会での力不足も当然でありました。

この度、この大役を仰せつかりましたが、諸環境の変化に対応するには、経験能力とも全く不足であります。地域の皆様、諸先輩のご支援を得ながら、できる限りを尽くして参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

高齢世帯も共に

会計 市沢 元則



前期に続き会計実務を担うことになりました。

た。透明性を基本に遅滞なくフットワーク良く誠実に重責を果たして参ります。

自治会から脱退される高齢世帯が増えていたため、令和5年度より新たな試みを行つていきます。「85歳以上の単身・夫婦のみ」(満年齢に達した翌年度から)区費を免除とし、また年度末には長年の定住に補助金3千円をお渡しします。高

齢になり「役員や組合のお付き合いができない」、「皆様に迷惑をかける」と言われますが、そうでなく、高齢世帯になつても「向こう三軒両隣」の精神でお互いに支え合える下市田区で過ごして頂きたいと思っています。

なお脱退されますと区の規定により年間区費1万2千円を納付して頂き

退任にあたり

前区長 久保田 正博



3年前からの新型コロナ感染の大流行、遠

い世界で起きていると思つていた各地の戦争や紛争からのエネルギー危機等で、町だけでなく当区の運営や区民生活に多大な影響を受けたこの2年間でした。

国や県や町が関わるハード事業はそれなりに進んでいると思いますが、ソフト面では課題が多いと感じています。特に少子高齢化の社会情勢とコロナ禍以前からの地域コミュニティの減

ます。脱退されると隣近所の付き合いや情報が少なく、不安や負担が大きくメリツトはありません。脱退をお考えの世帯がありましたら、ご助言をお願いします。

人との出会いや縁、女性とお酒をこよなく愛し、日本人が大切にしてきた謙虚さと思ひやりを大切にしていきたいと思っています。

少傾向は、区の運営にとつて益々大きな課題となつて参りました。その複合的影響で、区の会計も高齢世帯免除や電気代等諸物価の値上がりで厳しくなつてきました。役員の成り手不足、常会未加入世帯の増加等、今まで通りいかないのは皆様承知の如くです。区の組織改革や行事内容の見直しは避けて通れなくなつてきています。

自分とは？ 自分の周辺で出来る事は？ 自治会とは？ 等々…。自問自答してきました。力不足で課題をたくさん残して退任となりましたが、区民の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

代議員 の紹介

元氣な下市田に

代議員会長 佐藤増一

この度、代議員会長を仰せつかりました3区の佐藤と申します。長く高森を離れていましたので、地域のことがよく分からないうが、皆様のご指導とご協力を

会長 3区 自治会長
佐藤増一

1区 会計
大場泰司

副会長 4区 自治会長
池田直人

2区 自治会長
松島健治

3区 会計
今川良人

5区 副自治会長
佐々木茂

1区 自治会長
佐々木順一

2区 副自治会長
滝茂樹

4区 副自治会長
大久保隆弘

6区 自治会長
福島文雄

1区 副自治会長
上沼基広

3区 副自治会長
伊藤光明

5区 自治会長
藤田幸彦

6区 副自治会長
村澤哲夫

令和5年度 下市田区 おもな事業・行事 (予定)

月日(曜日)	事業・行事	参加対象	担当
4月2日(日)	春の里道作り	全区	土木
4月23日(日)	用排水路清掃(井ざらい)	全区	水利
4月23日(日)	常会長・区委員合同会議	関係役職者	区
5月7日(日)	春の山作業(区有林管理作業1回目)	3・4・5区	林務
5月14日(日)	環境美化運動の日、ごみゼロ運動(町)	全町	環境衛生
6月4日(日)	全町一斉河川清掃	全町	町・区
6月11日(日)	堤の草刈り作業1回目	3・4・5区	水利
7月9日(日)	夏の山作業(区有林管理作業2回目)	3・4・5区	林務
7月29日(土)	萩の郷夏祭り	全区	支館
8月20日(日)	堤の草刈り作業2回目	3・4・5区	水利
9月3日(日)	全町一斉防災訓練	全町	町・区
9月10日(日)	萩山神社 秋の例大祭	全区	神社
9月中旬	防災研修会	関係役職者	防災
10月15日(日)	堤の草刈り作業3回目	3・4・5区	水利
10月15日(日)	萩の郷敬老祭	対象者	支館
10月29日(日)	秋のごみゼロ運動(区)	全区	環境衛生
11月5日(日)	秋の山作業(区有林管理作業3回目)	3・4・5区	林務
11月5日(日)	萩山神社 七五三祝	対象者	神社
1月1日(月)	萩山神社 初詣・元旦祭	全区	神社
2月10日(土)	地元町議会議員との懇談会	関係役職者	支館
2月初旬	防災研修会	関係役職者	防災
3月中旬	常会長・区委員合同会議	関係役職者	区
3月下旬(土日)	萩山神社 春の例大祭	全区	神社

代議員1名減

令和5年度から1区の代議員が3名になりました。

役職者合同会議 事業計画を説明

4月23日、区民会館で区の役職者合同会議を開き、常会長のみなさんに新年度事業計画を説明しました。



常会長のみなさんに事業計画を説明

各委員会の委員長紹介



土木委員長
高山 光義



水利委員長
北沢 義実



林務委員長
井坪 栄喜



土地利用委員長
林 直一



防災委員長
仲平 豊実



環境衛生委員長
長坂 公功



監査委員長
福沢 嘉言



監査委員
新井 徳二



監査委員
北澤 明

監査委員 の紹介

財産管理適正に
監査委員長 福沢 嘉言

今年度監査委員長に選任
されました5区の福沢で
す。区の監査委員は3区の

新井徳二さん、6区の北澤
明さんと私の3名で、下市
田区、公民館下市田支館、
萩山神社、萩山郷土芸能保
存会、御柱木遣・喇叭保存
会の監査を行います。

役員の皆様には善管注意
義務のもと区の財産を適正
に維持・管理・運用されま
すようお願いいたします。

土地利用委員会は区の三
役、各区の自治会長、区の
各委員長、河原耕作者組合
長、農業委員など20名ほど
で構成されています。

農地を宅地や工業用地等
に転用する申請が出され、
その面積が500㎡以上の
規模の大きな案件が発生し
た場合に、この土地利用委
員会が開催されます。宅地

開発案件を審議 土地利用委員長 林 直一



決算監査を実施

4月21日、区民会館下
市田区、下市田支館、萩山
神社の令和4年度決算の監
査を実施しました。

化や商工業等の建物が建設
されるようになった場合に、
隣接する農地に影響が無い
か、あるいは道路等、周辺
の環境整備は大丈夫か、そ
して集中豪雨等による雨水
の排水対策はしっかり取ら

れているか等を審議します。
今年度も各区より土地利
用委員会において審議が必
要な案件が発生した都度、
委員会を開催して参ります
ので、よろしく願いいた
します。

令和4年度 下市田区一般会計決算 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入額 36,041,215円
支出額 27,445,068円
差引残高 8,596,147円

【収入の部】 (単位:円、△は減)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前期繰越金	6,318,873	6,318,873	0
区 費	14,480,000	15,483,600	1,003,600
町 支 出 金	7,955,000	10,570,503	2,615,503
財 産 収 入	1,038,000	1,039,502	1,502
地元負担金	174,000	176,850	2,850
消防義務費	1,300,000	1,550,000	250,000
諸 収 入 金	790,200	901,887	111,687
繰 入 金	0	0	0
収入合計	32,056,073	36,041,215	3,985,142

【支出の部】 (単位:円、△は減)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
総 務 費	13,635,000	12,264,855	△ 1,370,145
環境衛生費	930,000	849,080	△ 80,920
林 務 費	810,000	552,575	△ 257,425
土 木 費	1,975,000	1,954,930	△ 20,070
水 利 費	3,785,000	7,716,977	3,931,977
防 災 費	3,475,400	2,511,155	△ 964,245
公 民 館 費	1,500,000	1,500,000	0
予 備 費	5,945,673	95,496	△ 5,850,177
繰 出 金	0	0	0
支出合計	32,056,073	27,445,068	△ 4,611,005

令和5年度 下市田区一般会計予算

令和5年5月8日補正

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

歳入・歳出総額 33,651,147円

【収入の部】 (単位:円、△は減)

科 目	予 算 額	対前年増減
前期繰越金	8,596,147	2,277,274
区 費	14,690,000	210,000
町 支 出 金	7,067,000	△ 888,000
財 産 収 入	1,038,000	0
地元負担金	147,000	△ 27,000
消防義務費	1,450,000	150,000
諸 収 入 金	663,000	△ 127,200
繰 入 金	0	0
収入合計	33,651,147	1,595,074

【支出の部】 (単位:円、△は減)

科 目	予 算 額	対前年増減
総 務 費	13,027,000	△ 608,000
環境衛生費	570,000	△ 360,000
林 務 費	800,000	△ 10,000
土 木 費	330,000	△ 1,645,000
水 利 費	6,380,000	2,595,000
防 災 費	2,133,000	△ 1,342,400
公 民 館 費	1,500,000	0
予 備 費	8,911,147	2,965,474
繰 出 金	0	0
支出合計	33,651,147	1,595,074

下市田保育園 改修問題の現状

下市田保育園改修について現状をお知らせします。

現地改修の方針について町は「5年前に決まったこと。当時、区から移転という意見はなかった」と言います。一方、区は「区民への説明・意見聴取がないまま決められた。区への相談も一度もなかった」という認識です。

移転先が見つかるかどうかは探さなければ分かりませんが、町は「国道より上で適当な場所は見つからないのが現状。区民会館前の広場は面積が不足」と説明しています。

ただ、こうしている間にも園舎（新耐震基準以前の昭和55年建築）の老朽化は進みます。保護者は改修によって保育環境が良くなるなら少しでも早くしてほしいと思うでしょう。また改修工事中に代替で使う予定の旧みつば保育園の空き家の期間が長くなることもあり、あまり好ましくありません。難しい判断ですが、落ち

着いて考え、しかし無駄な時間をかけず、結論を出さなければなりません。町は6月から耐震診断・耐力度調査（3か月ほどかかる見込み）を行います。区は下市田保育園と認定こども園ぱどまの見学を行い、参考にしていきます。

各園の入所児童数の推移

※各年4月1日現在（年度途中の入所があるため年度末の入所児童数は若干増える）

	定員	入 所 児 童 数									
		平26	平27	平28	平29	平30	平31	令2	令3	令4	令5
下市田保育園	120	130	118	120	118	111	109	105	93	93	74
吉田保育園	90	71	78	88	82	83	75	79	64		
吉田河原保育園	90	87	91	85	95	81	81	76	83		
認定こども園ぱどま	155									149	137
みつば保育園	90	73	83	89	90	83	81	70	63	65	
高森あかり保育園	120										95
山吹保育園	90	83	67	64	67	59	61	54	62	71	76
町外	—	18	34	42	36	35	36	38	42	37	36

<全町のおもな経過>

平成28～30年度 子ども・子育て会議で「吉田保育園とみつば保育園を優先して建て替える」、「町内5園を4園にする」の2点を了承

令和元年7月31日 臨時議会の町長あいさつ「吉田区と相談し、吉田河原保育園に吉田地域全体を包括した保育園を担っていただくことに決定した」、「みつば保育園の新園舎を新たに建築し、民営化をベースに施設規模や場所の選定を早期に進める」、「両保育園の新園舎完成後、下市田保育園、山吹保育園の園舎の全面改築を行う」と方向性を示す

令和元年8月 保護者・町民との意見交換会（4会場）

令和元年9～10月 保護者・町民アンケート実施（この後の吉田統合園と新みつば移転新築の経過は省略）

令和4年4月1日 認定こども園「ぱどま」が開園

令和5年4月1日 高森あかり保育園が開園

<下市田保育園改修の検討経過>

ハザードマップ2019（令和元年度発行）に新しく地すべりイエローゾーンが加わり、園庭の一部がかかるため、令和3年度に議会などで懸念の指摘が上がる

令和4年

3月9日 議会一般質問の町長答弁「（イエローゾーンにかかるから）移転という話だが、これは何度も町民にお計らいし大規模改築で了解を得ている。ところがコロナの影響で少子化が一気に加速している。4園を維持できるのか、下市田保育園を継続するかどうかも含めて検討したい」

5月24日 子ども・子育て会議。教委事務局「山吹・下市田の定員を計130～150名に減らしたい。長い将来では3園になることも考えられるが、教委とすると当面は公立で下市田に1園、山吹に1園は必要という判断」。定員を減らして公立2園を残すことを了承

7月4日 子ども・子育て会議。下市田保育園改修について、保護者への説明と理解を得ること、避難計画の再確認・避難訓練の定期的実施を条件に、現地改修の方向性を了承

7月7日 子ども・子育て会議が検討結果を町長に提案。添付資料の定員（案）は下市田120→80、山吹90→70、ぱどま155維持、みつば90→新みつば120（合計455→425）

7月20日 保護者会5役と意見交換

8月25日 第1回保護者説明会。改修内容は、①建物の躯体をいかに大規模改修（耐震については必要に応じて補強）、②現定員120名を80～90名程度に減員し、それに対応した園舎改修、③給食室を現在の基準に合わせて改修

9月5日 保護者に「災害時の対応について」文書を配布

9月13日まで保護者アンケート調査を実施

9月20日 第2回保護者説明会

10月25日 アンケート結果を受け、町の方針を決定し保護者に通知。「現地での園舎大規模改修」、「改修開始時期は令和6年4月」、「改修中の保育はみつば保育園」など

11月28日 下市田説明会。説明会の後、区三役から「町へのお願い」を提出。「下市田区民への説明・意見聴取もないまま方向を決めたのはなぜか。すでに決まっていたから説明では納得いかない」、「地すべり予知の方法が不明で事前避難の保証がない。科学的な予知方策が必要」など

12月8日 下市田区代議員会。町長、教育長、教委事務局が出席し、「町へのお願い」に対し「5年前に決まったことで、当時区から改修ではなく建て替えとの意見も寄せられていなかった」、「地すべりの予知ではなく地すべりが起こる可能性がある場合に子どもたちを早く帰す。雨の予報をもって避難するという見解で十分と考えている」、「まずは耐震診断と耐力度調査を行いたい。あまりにも結果が悪ければ建て替えもあり得るので、区・保護者会と相談し次の方向性を決定したい」と回答

令和5年

1月27日 下市田説明会

2月8日 下市田区代議員会。結論は出さず継続審議に

3月8日 下市田区代議員会。挙手により町の方針に対する賛否を確認し、現地改修に賛成6名、反対4名、現地で新築4名、その他1名

地元町議会議員と懇談会

区は今年2月11日に区民会館で地元町議会議員との懇談会を開催しました。区民63人が参加し、北沢幸保議員、三浦喜久夫議員、小川修議員、小沢恵子議員と質疑応答を行いました。今回は事前に区民から質問・意見・要望を募集し、4議員に答えていただきました。おもな内容をお伝えします。

自治会加入率 現状と対策は

Q1) 自治会加入率60%程度の現状と今後の対策は。

北沢議員 加入者と未加入者の不公平(役員選出、出労、自治会費等納入)、自治会収入の減少、災害時の対応が円滑にできなくなるなど大変憂慮すべき問題。全国の成功事例を学んだり、専門家の講演や学習会を繰り返し行い町民意識を高めていく。

三浦議員 自治会運営が厳しくなり、非常に困る。共助の自主防災組織としての機能を前面にしていこう。小川議員 話を聞くとたゞに事の重大さに危機を感じ

ている。自治会の維持が難しくなる前に、早急に手立てを考えていく必要に迫られている。

小沢議員 未加入世帯の増加は一部の人たちに役員

町議として 考える課題

Q3) ご自身の課題と考えていること(2つまで)。

小川議員 ①下市田産業用地の進捗。②カーボンニュートラルの取り組み。

小沢議員 男女共同参画と言うが、女性議員は家庭があり母でもあり、男性議員と同じ歩幅、同じペースで歩き、取り組みたくても難しさがある。それは議員



下市田区の4議員を迎えて

などの負担が強いられるほか、地域の防災・防犯機能の低下も招く。集まること自体を苦痛と感じる方や、

町議会の現状と 今後のあり方は

Q2) 高森町議会の現状と今後のあり方について。

三浦議員 一応機能していると思うているが、町長の追認機関みたいになっていいると思われるところはある。変えてはいけなところろ、変えるべきところを見極めた議会改革が必要。

時間をつくる難しさもあると思う。加入者でも役員が大変だから常会を脱退したいという声も耳にする。具体的な策は難しく、良い案があればうかがいたい。

活動の中心に 取り上げること

Q4) 今後議員活動の中心として取り上げたいこと。

小沢議員 障がい者福祉や教育。町の取り組みを細部まで理解すること、自身の知見も必要。

北沢議員 ①学校給食の無償化。②防災減災対策Ⅱ

小川議員 予算審議など議会は不可欠。委員会制度はバランスの取れた形で、今後も続くと思う。

小沢議員 それぞれ専門的視点から質疑を行い、議決機関としての役割は果たしていると思う。町長に提言を提出し、町も事業として取り組んでいる。

北沢議員 平成29年度から次年度の予算に向けて行政側に提言してきた。令和4年度からグループや団体の要望に応じて町民懇談会を行っている。議会からも積極的に地域に出かけていくことが求められる。

角田原の雨水対策、中学校南と羽根坂の竹伐採後の崩落対策。③武陵地交差点の改良。

三浦議員 自治会役員や消防団員など担い手不足の解消。自治会や消防団の存在意義をみなさんと考え、これからの世代がどう思いか話し合ってみよう。

小川議員 下市田産業用地への取り組み。与えられた役割の中で粛々と仕事をしたい。

現地改修か移転新築か どうする下市田保育園

Q5 下市田保育園の改修について、土砂災害警戒区域に指定されている場所ので現地改修を容認するのか。

小沢議員 教育委員会から「現地改修を最優先に」と説明を受けた。親御さんから「新しくしてほしい」という声も聞いている。地すべりイエローゾーンに関しては、防災訓練、引き渡し訓練などを行うことは必要だと思う。

北沢議員 町長は「現地改修か移転新築か区で方向を決めてほしい」と述べている。現在の園庭が2つの地すべりイエローゾーンに含まれ、見晴山活断層が萩山神社の近くを通り南小プール方向に走っていることから、安全安心の保育園にするために移転新築を最大限追求すべき。国の防災移転支援事業等の活用を検討すべき。

三浦議員 地すべりイエローゾーンを除けば、環境、

立地条件などを考えると、下市田地区でここに勝る場所はないと思う。

小川議員 移転と言っても何年もかかる。町は地すべりイエローゾーンも考慮（耐震補強）して改修するようで、そのようにしてみようか。

町民にどう役立つか

山吹のサッカー場建設

Q7 山吹はたるパークのサッカー場建設についての考えは。総建設費の見込み、町の支出は。本当に町民のためになる事業か。

三浦議員 総事業費は10億7千万円。財源は国庫補助4億5860万円、地方債3億8380万円（2分の1は交付金で補填、残りの1は交付金で補填、残り2分の1は一般財源）、一般財源2億2760万円（うち1億3千万円余は土

夕映え道路から 南大島川の橋は

Q6 夕映え道路から南大島川へ橋を渡す計画は今のうなっているか。

三浦議員 橋は令和4年度に設計、5年度から工事し7年度に完成予定。橋の建設費は高森町と飯田市で折半で、夕映え道路との接続は町の事業。飯田市の万才線とは市の事業でラウンドアバウトでつなぐ。

地代で財政調整基金から繰入。したがって地方債の半分の1億9190万円を合わせた4億1950万円が町の一般財源からの支出。山吹下河原一带は今後町が大きく変わっていく場所だと思う。サッカー場ができることで人の流れ・賑わいが変わり経済も動き、町の出費も多いが周辺への経済効果がある。町民利用による健康増進、サッカーを



地区内外の課題を取り上げて

通じた青少年の健全育成なども町民にとって役立つ。
小沢議員 局所的でなく広域的にとらえ、観光を視野に農産物の販売などで収益を得る取り組みを考えていくことが大切。今は若い人がSNSで発信したことが経済効果につながる時代で、時代に合わせた取り組みが必要だと考えている。
北沢議員 センターを20年間維持するメリットとデメリット、毎年の維持費、費用対効果、財政見通し等が町民にまったく示されていない。飯田市川路（昨年）や駒ヶ根市と飯島町（令和11年）に天然芝サッカー場ができる中で将来の利用見通しを示す必要がある。今

場外馬券売り場 に対する考えは

Q8 場外馬券売り場に対する考え方は。

北沢議員 昨年12月13日に議会で反対請願2件を採択し、12月15日に浜名湖競艇企業団に意見書を送付した。これにより企業団は計画を断念した。将来の健全な高森町の発展に向け排除できて良かった。

小川議員 反対した立場で今も変わりはない。

小沢議員 賛否両論あった。反対の請願に賛成した。人（ギャンブル愛好家）で山吹下河原が賑やかになるとは思えない。



支館主事
小林 和子
(1区)



副支館長
矢澤 民樹
(2区)



支館長
新井 千道
(6区)

下市田支館より

支館としては、コロナが5類になり、今まで行っていたイベントを充実させ、区民の皆様に喜んでいただけるよう取り組んでいます。

イベント充実へ

支館長 新井千道

私はこの4月から下市田区の支館長として就任いたしました。区民の皆様と共に



支館副部長
松下 伸太
(6区)



支館副部長
熊谷志保子
(6区)



支館副部長
佐々木ひろみ
(5区)



支館部長
林 裕文
(5区)

4月より支館部長を仰せつかりました5区の林と申します。

笑顔で集える場を

支館部長 林 裕文

たいと考えております。これから皆様のご意見を取り入れながら、支館の活動を行ってまいります。下市田支館に皆様のご指導ご協力をお願いして就任のご挨拶とさせていただきます。

国内で新型コロナウイルス感染者が確認され4年目になりました。その間、支館行事も中止や縮小を余儀なくされておりましたが、5月から感染症の位置づけが5類に移行され、行事も徐々に再開できるかと思えます。コロナ前と同様に開催するにはまだ時間がかかると思いますが、その時の状況を踏まえ、限られた時間の中でも笑顔で集える場を取り戻していけたらと思っております。区民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



退任あいさつ

前支館長 上沼基広

令和3年度と4年度の大館長の大役を仰せつかりましたが、コロナ禍の波の中で事業活動が抑制され計画倒れが続く、公民館支館活動の「集い、学び、結ぶ」の本来の基本に繋がらず残念でしたが、代替案として区民会館前の桜木イ

ルミネーション、新春お楽しみ会が分館長主事、支館部員の皆様のご理解ご協力の中で実施できたことが思いに残りました。昨年夏祭りを計画し、実施1週間前に急に中止となりましたが、関係者の皆さんで悩み実行するための意見交換をできたことは良

い意味でコミュニケーションになったと感じました。これから徐々に従来の活動に戻っていくかと思いますが、やり方は変わっても、区民の皆さんの思いに残る事業を新井支館長中心に活動されることを祈念して退任のあいさつに代えさせていただきます。

令和4年度 下市田支館決算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入額	3,977,277円
支出額	1,672,520円
差引残高	2,304,757円

【収入の部】

(単位：円、△は減)

科目	予算額	決算額	増減
繰越金	2,075,052	2,075,052	0
繰入金	1,500,000	1,500,000	0
補助金	400,000	402,200	2,200
雑収入	1,000	25	△ 975
収入合計	3,976,052	3,977,277	1,225

【支出の部】

(単位：円、△は減)

科目	予算額	決算額	増減
総務費	2,100,000	1,189,781	△ 910,219
事業費	1,790,000	471,739	△ 1,318,261
広報費	11,000	11,000	0
予備費	75,052	0	△ 75,052
支出合計	3,976,052	1,672,520	△ 2,303,532

令和5年度 下市田支館予算

令和5年5月8日補正

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

歳入・歳出総額 4,205,757円

【収入の部】

(単位：円、△は減)

科目	予算額	対前年増減
繰越金	2,304,757	229,705
繰入金	1,500,000	0
補助金	400,000	0
雑収入	1,000	0
収入合計	4,205,757	229,705

【支出の部】

(単位：円、△は減)

科目	予算額	対前年増減
総務費	1,940,000	△ 160,000
事業費	1,960,000	170,000
広報費	11,000	0
予備費	294,757	219,705
支出合計	4,205,757	229,705

分館長・主事の紹介

「つぎの」ついで
地域住民に絆が

分館長・主事会会長

坂牧 博夫

令和5年度、若輩者ではありませんが、分館長・主事会会長を務めさせて頂きます3区の坂牧です。

さて、コロナ禍の中3年間ほど様々な事業が中止となり、「つどう」ことが薄れてきました。「つどう」ことは地域住民の

1区分館長
山本 智治2区分館長
蜂谷 昌幸3区分館長
坂牧 博夫4区分館長
玉置 淳一5区分館長
小川 喜也6区分館長
中垣 裕彦1区分館主事
船田 智2区分館主事
塩沢 健二3区分館主事
宮島 正樹4区分館主事
橋都 淳5区分館主事
北原 清和6区分館主事
新井 博文

令和5年度下市田支館事業計画

月日(曜日)	事業
7月29日(土)	萩の郷夏祭り
10月15日(日)	萩の郷敬老祭
10月21日(土)	高森まるごと収穫祭(町)おしるこ無料サービス
2月10日(土)	地元町議会議員との懇談会

令和5年度下市田区各分館事業計画

区	月日(曜日)	事業
1区	5月28日(日)	親子ふれあい教室
	6月18日(日)	スポーツ大会
	7月22日(土)	ふれあい広場夏祭り
	10月1日(日)	常会対抗ベタンク大会
	1月28日(日)	文化交流会
2区	5月21日(日)	笑顔を増やそうプロジェクト
	6月4日(日)	常会対抗ベタンク大会
	7月8日(土)	下2納涼祭
	11月23日(木)	笑顔を増やそうプロジェクト
	1月1日(月)	新年会(新春獅子舞を迎えて)
3区	6月25日(日)	多世代交流会&ちょっと防災
	9月17日(日)	マレットゴルフ大会
	11月19日(日)	常会対抗ベタンク大会
4区	6月25日(日)	夏期スポーツ大会と焼肉交流会
	9月24日(日)	ふれあい広場ミニ運動会
	1月1日(月)	元旦マラソン大会
5区	6月18日(日)	おいお茶だに!
	9月3日(日)	スポーツ大会
	12月17日(日)	おやす作り
	1月6日(土)	ほんやり作り
6区	5月21日(日)	マレットゴルフ大会
	7月	盆踊り講習会
	12月	正月飾り作り
	1月	どんど焼き

間に絆が生まれ、住民同士の繋がりが強まる」と文部科学省の公民館の位置づけ

で挙げられております。コロナ禍も完全終息しておりませんが、5類となり、

マスク着用も本人の意思となる中、皆様のご指導ご鞭撻を受けて活動して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

編集委員

令和5年度の下市田区

報・館報「萩の郷」編集委員は次のとおりです。

▽区長 北沢文治▽副区長

光沢金良▽会計 市沢元

則▽支館長 新井千道▽副

支館長 矢澤民樹▽支館主

事 小林和子

◇支館部員▽1区 上沼俊

亮、武田尚孝、中塚代里子、

編集後記

新体制で初めての区報・館報の編集が終われば、息つく間もなく「萩の郷夏祭り」の計画作りが本格的に始まります。各分館の事業も5月からスタート。次号の紙面は春夏のイベント山盛りになるでしょう。全部載せるつもりで臨みます。

山田綾子▽2区 松島稔、金田美保子、大沢美麗▽3区 洪谷圭史、今村美由紀、松下道博、今川美賢▽4区 宮澤昌幸、鳥海幸広、蜂谷貴子▽5区 林裕文、佐々木ひろみ、手塚弘子▽6区 熊谷志保子、松下伸太、原純江



支館総会(4月20日、区民会館)

わたしの作文 ぼくの作文



長距離もつと速く

小6 鳥海 宏陽(ひろはる) (4区)

ぼくは陸上で長距離をやっています。5年生の時は、練習しても、なかなか自己ベストが出ませんでした。練習は苦しいこともありますが、タイムが速くなると、すごく嬉しいです。

今ぼくは早起きして、お父さんと、お兄ちゃんと走っています。冬場すごく寒くて、起き



るのがつらかったけど、今は、走っていて風がとても気持ちいいです。

ぼくの目標は2つあります。1つ目は南信大会で1位になり、そして県大会で3位以内に入ることです。2つ目は自己ベストを出すことです。頑張ります。

ぼくの折り紙

小5 藤田 京史郎(きょうしろう) (5区)

ぼくは折り紙を折るのが好きです。理由は、折り紙は1枚の紙から色々な形のものを作れるからです。

例えば、折り始めが同じでも、と中から折り方を変えれば別のものになります。いつもぼくが折っているドラゴンは、最初はつるの様に折りますが、ひし形に開くあたりから折り方を変えます。足や手、頭、しっ



ぽ、羽がついたドラゴンになります。たくさん折り目をつけるので、1つを折るのに30分かかります。でも、とても集中して折るので、あつという間に時間が過ぎます。

もつと難しい折り方をマスターしたいです。

空手やり続けたい

小6 今川 竜汰(りゅうた) (3区)

ぼくが今頑張っていることは、小学1年生の時から始めた空手です。

なぜ頑張っているかという、空手をやっているところが、楽しいからです。そして、今は茶帯で、妹に負けたくない(抜かれていますの、県大会でいつも1回戦や2回戦で負けてしまうので、



たくさん努力して、今度の県大会では、1回戦、2回戦を突破できるように頑張りたいです。

中学生になっても、高校生になっても、大学生になっても、大人になっても、元気に空手をやり続けたいです。



浦安の舞姫

令和5年3月26日

萩山神社春季例大祭

吉沢 澄海さん(1区)

熊谷 優杏さん(4区)

坂牧 夏帆さん(2区)

手塚莉緒奈さん(5区)

酒井 里桜さん(3区)

酒井 椿さん(6区)



獅子曳き

桜丸

鈴木 悠仁くん(4区)

松王

小木曾恵吾くん(1区)

梅王

牧内 椿くん(1区)